

水の豊かな八幡平市安代地区には、大小二十もの滝があり、その中でも最も有名なものが「不動の滝」です。三段からなる名滝は「日本の滝百選」の一つに数えられているほか、「岩手の名水二十選」にも認定された名勝です。

滝に隣接する岩壁には、かつて古い社殿がありました。延享元年（一七四四）の棟札や明和八年（一七七七）の鰐口、享和二年（一八〇二）の石灯笼などが残り、古くからの不動の滝信仰を伝えていています。現在岩壁には不動堂が寄進され、参道の横に新しい社殿が建立されています。この不動の滝は修験者の道場だったといわれ、森閑とした一帯には今なおその雰囲気が残っていますが、残念ながら現存する資料からうかがい知ることはできません。「桜松神社」と改称されたのは明治になつてからのことです。また、滝の中ほどに安置されている石彫不動明王は、昭和九年（一九三四）の比較的新しいものです。



【交通のご案内】

自動車 松尾八幡平ICより30分、東北自動車道安代ICより10分
鉄道 盛岡駅から荒屋新町まで約85分
(いわて銀河鉄道-JR花輪線)※乗り換えなし
タクシー 荒屋新町から日本の名瀑不動の滝まで約10分

不動の滝付近では携帯電話の電波が圏外になる場合があります。



【お問い合わせ】(一社)八幡平市観光協会

〒028-7303 岩手県八幡平市柏台一丁目28番地

TEL 0195-78-3500 FAX 0195-78-3838

<http://www.hachimantai.or.jp/>

日本の滝百選

不動の滝

岩手県八幡平市

桜松公園

春には日本の滝百選「不動の滝」と美しい桜が見られます。駐車場の近くには緩やかな勾配ある遊歩道が整備され、東屋からは見事な双耳峰の七時雨山が見えます。

不動の滝まつり

5月3日には桜松神社例大祭に合わせて不動の滝まつりが開催されます。

日本の滝百選

不動の滝

1921年(大正10年)岩手日報社 県下三勝十景第一位
1985年(昭和60年)いわての名水二十選(不動の滝・不動川)
1990年(平成2年)日本の滝百選

不動の滝は桜松神社境内にあり、古来より修験者の道場、あるいは藩主豪族の祈願所として使用されたという由緒ある霊場といわれています。境内は沢と崖の間に社や祠が立ち並び、辺りは神秘的な雰囲気になっています。四季それぞれに趣があり、境内に広がる美しい光景、不動の滝や不動川から発せられるマイナスイオンは訪れた人たちの心を癒し、パワースポットとしても知られています。

春には雪解水を含んだ荘厳な滝と新緑と花の奏でるハーモニーが、秋には彩りを添えた滝と溪流沿いの紅葉が楽しめる散策コースです。静寂な境内を涼しい風にふかれてゆつくり歩きましょう。縁結びの木には大事なお願いをしっかりと結んで…。



エンレイソウ



キクザキイチゲ



不動の滝

周囲の静かな空気を振るわせ、高さ15メートルの滝が豪快に白い飛沫を上げて垂直に流れ落ち、大小の岩の間を優美に流れていきます。滝の中程には石彫りの不動明王が安置されています。



桜松公園



参道には樹齢200年を超えるといわれる杉や松が生い茂り、60基以上の石灯籠などが寄進されています。

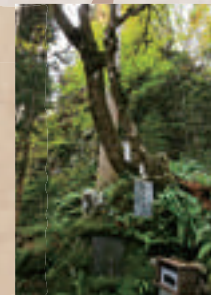


拝殿

参道横の新社殿には古い社殿の面影を残す延享元年(1744年)の棟札があるほか、豊作健康を祈願する絵馬等が奉納されています。

縁結びの木

苔の生えた岩から天に上るように2本の楓が伸びており、その中央部分で寄り添うようにつながっています。結び文で縁結びの願いがかんうといわれています。



不動堂

現在の不動堂の場所にはかつて古い社殿があったといわれています。不動堂前には雪の積もり具合で作柄を占う大石(お供え石)があります。

